アフターサービス

（1）10ページの「故障、異常の見分け方と処置方法」の項を見て、一度ご確認ください。
（2）ご確認の上で、それでも不都合の場合あるいは不明な場合は、自分で修理なさらないで、お買上げの販売店、またはお客様相談室にお問合わせください。
（3）保証書に記載されている無料修理規定以外は、有償となります。

容器（ボンベ）のお求めは

容器（ボンベ）はクッキングファイヤーカセットガスとご指定の上、お買い求めください。

アフターサービスをお申し込みになるときは
お買い求めの販売店、または当社事業所までご連絡ください。

販売店様へのお願い　下の保証書に必要事項をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

カセットガス式 ポータブルヒーター保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
お買上げ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買上げの販売店にお申し出ください。
本書は、再発行いたしませんので、たいせつに保管してください。

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買上げの販売店が無料修理いたします。
   ただし、離島およびこれに準ずる遠隔地への出張修理は、出張に要する実費をいただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、製品と本書をご持参、ご提示の上、お買上げの販売店にご依頼ください。
3. ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にお問い合わせください。
4. ご贈答などで本書に記入してあるお買上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、弊社へお問い合わせください。
5. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   イ．使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ．お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ．火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ．業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
   ホ．本書の提示がない場合。
   ヘ．本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト．仕様変更など。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行いたしませんので、たいせつに保管してください。

●この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきまして、ご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。
●保証期間経過後の修理または補修用性能部品について、くわしくはアフターサービスの項をご覧ください。

株式会社グリーンウッド

持込修理

型式の呼び
GCP−160
保証期間
お買上げ日 年　月　日より
本体お買い上げ日から１年間

お客様
ふりがな お名前　様
〒 ご住所
TEL

取扱販売店
店名・住所・電話番号 ㊞

故障・修理の際の連絡先

修理・故障などのアフターサービスについてご不明な点はお買上げの販売店か、右記へお問い合わせください。

（株）グリーンウッド お客さま相談室	フリーダイヤル 0120-117-446 受付時間：月曜日～金曜日［AM9：00～PM5：00］ （土曜・日曜・祝日および当社休日を除く）

株式会社グリーンウッド

本社　〒675-2462兵庫県加西市別所町395番地　☎0790(44)2817

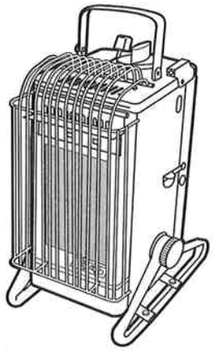
2009年8月現在（所在地、電話番号などについては変更のある場合がありますので、その節はご容赦願います。）0908:★★★

Greenwood

カセットガス式 ポータブルヒーター
（カセット容器組込み式ガスヒーター）

取扱説明書

GCP-160　屋外用



このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■グリーンウッドカセットガス式ポータブルヒーターを安全に正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。そして必要な時に読みかえしができるように必ず保管してください。裏表紙が保証書になっています。

■本商品は利便性を追求した簡易ガス器具です。過酷な使い方、特殊なご使用をされますと、やけどや火災など思わぬ事故の原因となったり、本商品の焼損のおそれがあります。本取扱説明書に記載されている内容を十分ご理解の上でご使用ください。

●圧電点火装置付
●圧力感知安全装置付
●ヒートパネル搭載

正しく使って上手に節約

目　次　ページ

ご使用のまえに ……2
特に注意していただきたいこと…2～5
各部のなまえ ……6
仕様 ……7
安全装置が作動した時の処置方法 …7
正しい使いかた ……8～9
日常の点検・お手入れ ……10
故障・異常の見分け方と処置方法…10
このような時は故障ではありません…11
保管（長期間使用しない場合）……11
アフターサービス ……裏表紙
保証書……裏表紙

ご使用のまえに

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合をを表しています。

絵表示の意味

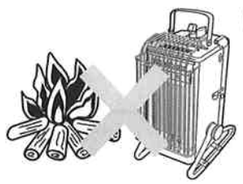
⚠一般的な注意　❗必ず行う　🚫一般的な禁止　分解禁止　接触禁止　火気厳禁

特に注意していただきたいこと

1.容器（ボンベ）の過熱注意

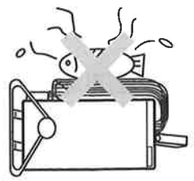
⚠警告(WARNING)　下記のような使い方は容器(ボンベ)が過熱し、爆発の原因となりますので、絶対にしないでください

■火気の近くには置かない



火気からの輻射熱により、容器(ボンベ)が爆発するおそれがあります。

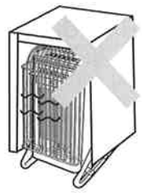
■ヒーター(手あぶり)以外の用途には使用しない



過熱や異常燃焼により、本体の焼損や火災、容器(ボンベ)の爆発のおそれがあります。

●本商品は手あぶり専用の器具です。調理に使用したり、 木炭の火起こしなどには絶対に使用しないでください。

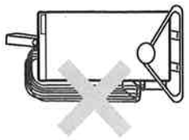
■周囲を囲って使用しない



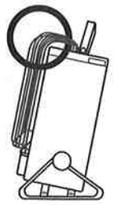
容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。

●市販の風防や天ぷらガード、岩などで囲んで使用したり、乾燥などのために前面や上面を覆うようなことは絶対にしないでください。

■メインバーナーを下方向に向けて使用しない



メインバーナーからの熱気で本体が過熱したり容器(ボンベ)の過熱で爆発するおそれがあります。



●燃焼面を上方向に傾けて使用してください。

2.使用容器（ボンベ）とその取扱いについて

⚠警告(WARNING)

■熱気のあたる場所に放置しない。

容器(ボンベ)はファンヒーターやオーブントースターなど、熱気の発生させる器具の周囲や熱気のあたる場所には放置しないでください。熱で容器(ボンベ)の圧力が上がり爆発の原因となります。

■火気や直射日光を避ける。

火気や直射日光、室内や車内の窓際などを避け、風通しが良く湿気の少ない40℃以下の場所にキャップをして保管してください。塩分のある場所や冷蔵庫も避けてください。器具内に容器(ボンベ)を入れたままで絶対に持ち運びしないでください。

■容器(ボンベ)を火の中に入れない。

過熱、爆発し大きな事故になります。燃えるゴミに混入すると危険です。

■容器(ボンベ)はガスを使い切ってから廃棄する

1.容器(ボンベ)を振ってサラサラと音がする時は、まだガスが残っています。お湯を沸かすなどで使い切るか、火の気のない風通しのよい所でステム(先端)を押しつけて残りのガスを抜いてください。

2.完全に使い終わってから他のゴミと区分し、地域の取り決めにしたがって分別廃棄してください。

⚠注意(CAUTION)

■専用の容器(ボンベ)を使う。

容器(ボンベ)は「クッキングファイヤーカセットガス」の表示のある専用容器(ボンベ)を使用してください。他の容器(ボンベ)を使用すると、ガス漏れなどの原因および正常な使用ができない場合があります。

■落下させるような場所で容器(ボンベ)を保管しない。

落下による破損やガス漏れによる引火のおそれがあります。

お 願 い

- ●容器(ボンベ)に表示されている注意事項を必ずお読みください。
- ●使用時は容器キャップをはずし、保管の時は容器キャップを押し込むだけにしてください。
- ●保管している容器(ボンベ)は、ときどき点検してさびが発生している時は、ガス漏れがないことを確認して、できるだけ早く使い切ってください。
- ●容器(ボンベ)のガスを故意に吸い込まないでください。人体に害を与えることがあります。

3.使用場所

⚠警告(WARNING)

■足場の悪い場所で使用しない。

転倒によるやけどや、異常燃焼による容器の爆発のおそれがあり危険です。必ず水平で足場の安定した場所でご使用ください。

■幼児の手の届くところでは使用しない。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。やけどや火災事故のおそれがあります。

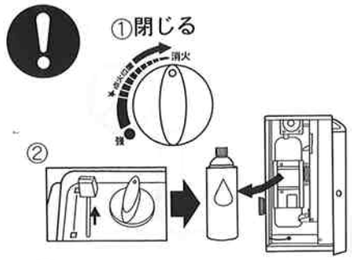
4.火災事故、ガス事故防止のために

⚠警告(WARNING)

■ガス漏れに気がついたら、すぐに火を消す。

ガスが漏れるとガスのにおい(くさった玉ねぎのようなにおい)がします。ブタンガスは空気より重く下部にたまります。火気など引火の原因となるものは使用をしないですぐに次の処置を行ってください。

1.直ちに火を止める。(器具せんつまみを「消火」方向の止まる位置まで回す)
2.容器(ボンベ)をはずす。(容器セットレバーを「脱」方向の止まる位置まで動かし、容器(ボンベ)をボンベ装着部から取外します)
3.窓や戸を開けてガスを外に出す



■狭い場所や換気の悪い場所では使用しない。

本商品は屋外専用です。屋内では使用しないでください。テント内、車内など狭い場所や換気の悪い場所では、絶対に使用しないでください。換気が悪いと酸欠により、窒息死や一酸化炭素中毒死になるおそれがあります。

■使用場所の周囲には、引火物や可燃物を置かない。

本商品の使用中は、周囲にガソリンなどの引火物や予備の容器(ボンベ)やスプレー缶を放置しないでください。引火や過熱により爆発のおそれがあります。

■火をつけたまま器具から離れない。

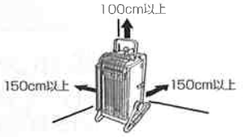
火をつけたままその場を離れたり、眠り込んだりしないでください。可燃物への引火などにより思わぬ事故の原因となります。必ず火を消してから離れるようにしてください。

■容器(ボンベ)がセットされていて、着火していないのに器具せんつまみが「消火」以外の位置にあると、ガス漏れをおこし危険。

使用しないときは必ず器具せんつまみを「消火」の位置にしてください。

■家具や壁など可燃物から右記以上離して使用する。

壁などが熱せられ火災のおそれがあります。



■室内や次のような場所では使用しない

- ●テント内、車内など狭い場所
- ●燃えやすい物のそば
- ●物が落ちるおそれがある場所
- ●新聞紙や段ボールなど燃えやすい物の上
- ●ガソリンなどの引火物やスプレー缶のそば

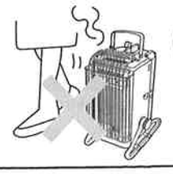
5.使用上の注意

⚠警告(WARNING)

■ガス漏れ

万一、ガス漏れが起こった場合は危険ですので使用しないでください。引火によるやけどのおそれがあります。

■使用中は本体に近付かない。



メインバーナーの前面や上面は高温になっています。近付きすぎますとやけどや衣類への引火のおそれがあります。

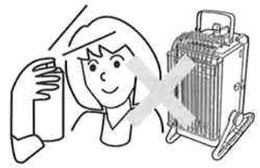
■着火の確認、燃焼状態の確認

点火時、使用中はメインバーナーを上から覗き込まないでください。炎によりやけどのおそれがあります。

■使用中は動かさない

使用中に本体を動かしますと、液状ガスが本体に流れ込み、炎が大きくなる異常燃焼を起こします。

■ヘアスプレーなどを近くで使用しない。



本商品を使用中に、周囲でヘアースプレーなど引火性のあるものを使用しないでください。引火による爆発のおそれがあります。

■分解、改造はしない。

改造はしないでください。改造や分解をしたりしますと事故の原因となるおそれがあります。

■衣類などの乾燥に使用しない。

燃え移ったりして火災のおそれがあります。

⚠注意(CAUTION)

■容器(ボンベ)の着脱は、風通しの良い、火気のない場所で行ってください。

■使用時以外は、つまみを「消火」方向に止まるまで回して、器具せんを締めてください。

■お子さまの手の届くところには置かないでください。

■炎を小さくしすぎると、風で吹き消されることがあります。

■使用後は、湿気の少ない場所に箱または袋に入れて保管してください。そのまま放置していますと虫や綿ぼこり等がガス通路に入り込み、異常燃焼や着火不良の原因となります。

■使用中、消火直後の本商品は高温になっています。十分冷えるまで金属部分(特にガードや天板付近)に触れないでください。

■長時間使用しないときは、必ず容器(ボンベ)をはずしてください。

■ご使用の有無にかかわらず、古くなったガス器具は安全のため、ご使用前に点検修理をご依頼ください。

■異常時の処理

万一異常燃焼したときや、緊急の場合はあわてずに器具せんつまみを「消火」にし、容器セットレバーを「脱」にして、容器(ボンベ)を取り外してください。「故障・異常の見分け方と処置方法」10ページを参照し、処置してください。

お願い

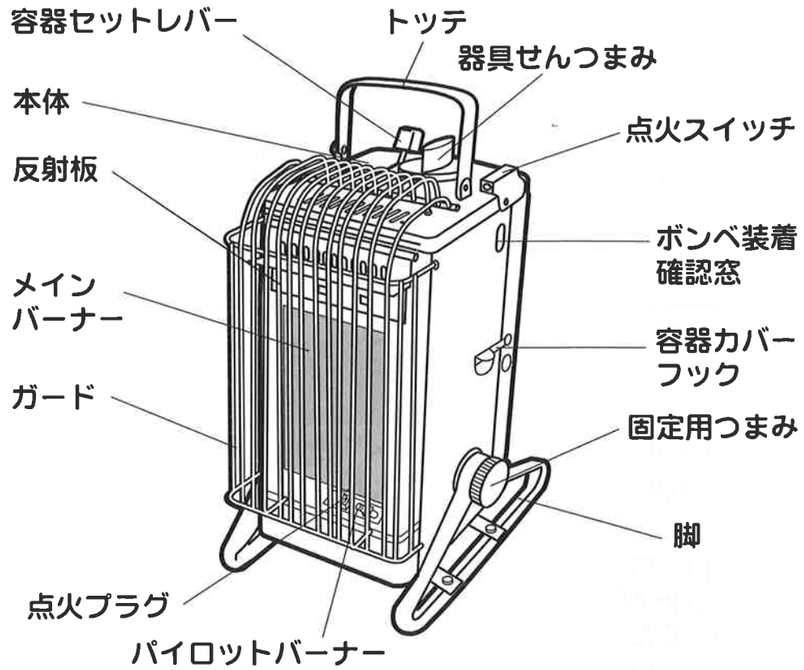
- ●雨など水のかかる場所や、塩気のある場所では使用しないでください。点火不良、さびの原因となります。
- ●点火、消火時のほか、使用中には正常に燃えているかときどき確認してください。

万一容器(ボンベ)が過熱し内部の圧力が上昇した場合は圧力感知安全装置が働き、自動的に火が消えてしまいますので次のような処置をしてください。

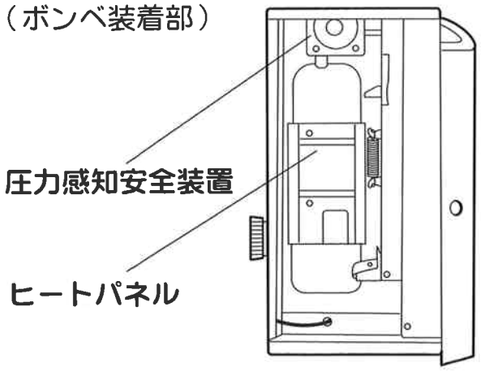
(1) 器具せんつまみを「消火」の位置に戻し、容器セットレバーを「脱」の位置に押し上げて、容器(ボンベ)を取り出してください。
(2) 容器(ボンベ)の温度が上がった原因を取り除いてから再使用してください。
容器の温度が高いうちは、圧力感知安全装置が働いて、点火することはできません。容器(ボンベ)は必ず冷やすか、別の容器(ボンベ)を使用してください。
(3) リセットボタンを押してリセットしてください。 (P7参照)
(4) ガス残量20g以下(0℃時のときの場合)パイロットバーナーの燃焼の影響で少し赤火になります。これは器具の異常ではありません。新しい容器(ボンベ)に取りかえるか、熱量が弱いことを前提として、最後までお使いください。

各部のなまえ

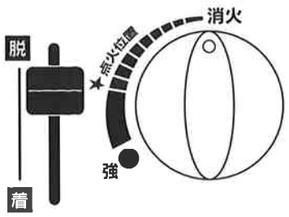
外　観



うしろ側
（ボンベ装着部）

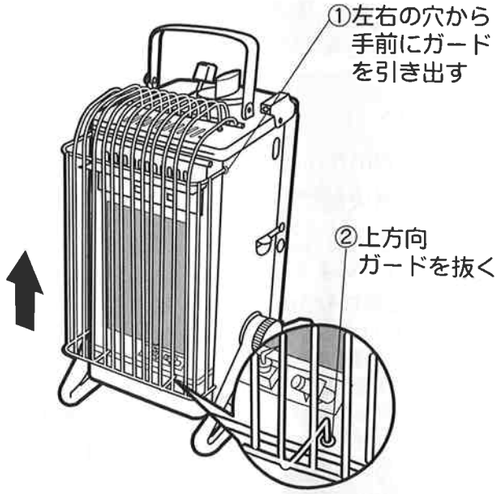


操作部



ガードの取り外し方

①左右の穴から手前にガードを引き出す
②上方向にガードを抜く



仕様

製　品　名	グリーンウッドカセットガス式ポータブルヒーター
形式の呼び･種類名	GCP-160　　カセット容器組込み式ガスヒーター
点火方式	圧電点火式
発熱量	1.6kW（1400kcal／h）
外形寸法	幅195×奥行190×高さ390（mm）
質量（本体）	約2.8kg　容器（ボンベ）を除く
使用ガス	ブタンガス
出力(ガス消費量)	1.6kW（1400kcal／h）120g／h　＊1
連続燃焼時間	約2時間10分　＊2
安全装置	圧力感知安全装置（閉止型）
使用容器	クッキングファイヤーカセットガス

＊1：気温10～15℃時、最大火力で使用したときの30分間実測値を1時間の消費量に換算
＊2：気温10～15℃時、最大火力で使用したときの目安時間

安全装置が作動したときの処置方法

圧力感知安全装置が作動した場合は

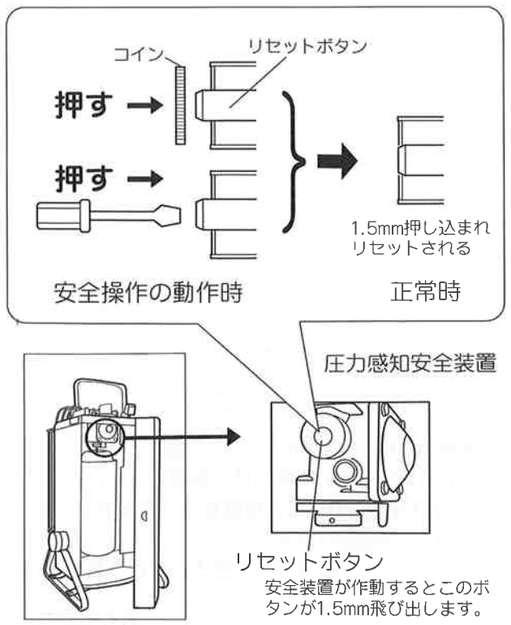
●ヒーター全体を覆ったり、外気温の高い場所で使用したり、極端に狭い場所で長時間使用すると、容器（ボンベ）の温度が異常に上昇し、圧力感知安全装置が働いて途中で消えることがあります。

このようなときには、「特に注意していただきたいこと」の項（2～5ページ）を見ていただき、その原因を取り除いてから次の要領でリセットしてください。

圧力感知安全装置のリセットのしかた

①器具せんつまみを「消火」の位置にしてください。
②容器セットレバーを「脱」にして容器（ボンベ）を安全装置から取り外してください。
③図１の容器カバーを開けて圧力感知安全装置のリセットボタンを棒状のもので押したり、10円玉などのコインをリセットボタンに当てて指で押してリセットしてください。
④予備の容器（ボンベ）をセットしてください。予備の容器（ボンベ）がない場合には、外した容器（ボンベ）が冷えてからお使いください。
⑤器具せんつまみを「点火位置」まで回し、点火スイッチで点火しますと、元通り正常に使用できます。

図1



正しい使いかた

⚠警　告

- ●故障または破損したと思われるものは絶対に使用しないでください。
- ●容器(ボンベ)を確実に装着しないとガスが漏れて火災の原因となります。
- ●容器(ボンベ)をセットしても「シュー」と音がしてガスの臭気がする場合には、完全に装着されていません。もう一度よく注意して取付け直してください。装着が不充分な状態で使用すると火傷や事故の原因になります。
- ●「シュー」と音がしてガス漏れが止まらない時には使用しないで、点検修理を依頼してください。漏れたガスを完全に追い出すまでは、絶対に火気、電気器具は使用しないでください。

⚠注　意

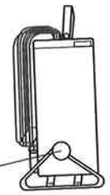
- ●無理な力でセットレバーを動かさないでください。必ず容器受けガイドの凸部と容器(ボンベ)の切り込みの位置が合っていることを確認してください。
- ●未点火の状態でつまみを「消火」以外の位置にしておくと生ガスが出て危険です。
- ●容器(ボンベ)が冷えていますと火力低下を起こします。40℃以下の暖かい場所で保管した、できるだけ新しい容器(ボンベ)をご使用ください。

■設置場所(使用場所)及び周囲の防火処置

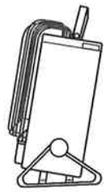
- ●本商品は屋外専用です。屋内、車内、テントなど密閉された場所では使用しないでください。
- ●引火物、可燃物が周囲にある場所では火災のおそれがありますので使用しないでください。
- ●強い風の吹き込む場所や、出入口など人の通る場所では使用しないでください。
- ●水平な場所で使用してください。振動の激しい場所では使用しないでください。
- ●他のヒーター、ストーブなど大きな熱源のそばでは使用しないでください。火元の熱でボンベが過熱され、爆発のおそれがあります。

■使用前の準備と確認

脚の使い方



①左右の固定用つまみをゆるめて使用したい角度に本体を起す。



②左右の固定用つまみを回して脚と本体をしっかりと固定する。

●点火後に、角度調整をしないでください。やけどをするおそれがあります。

■容器(ボンベ)の取付け方

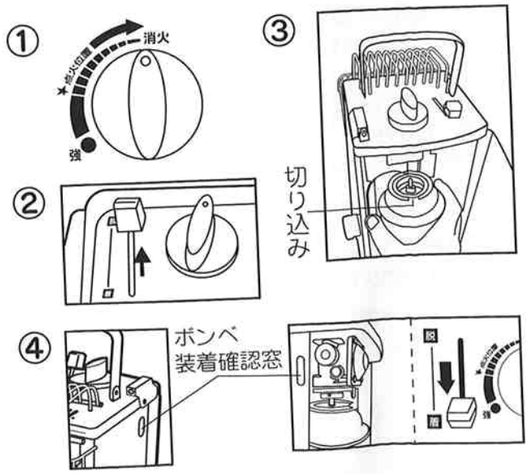
①器具せんつまみを「消火」方向に止まるまで回して器具せんを閉じる。

②容器セットレバーを「脱」の位置に合わせる。

③容器カバーを開け、容器(ボンベ)の切り込みを手前側にしてヒートパネルに取り付ける。

④容器(ボンベ)の切り込みを容器受けガイドの凸部(赤いペイント部)に合わせ、容器セットレバーを矢印方向の「着」側の止まる位置までスライドさせて容器(ボンベ)を固定します。
(ボンベ装着確認窓で確認しながら装着を行います)

⑤点火する前に、必ず容器カバーを閉め容器カバーフックを掛けてください。



⚠警　告

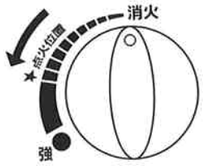
- ●点火操作は本体の横側から行ってください。上図右側のように操作をしますと点火時に大きく出る炎でやけどをするおそれがあります。
- ●点火時や使用時にメインバーナーを上から覗き込まないでください。メインバーナーからの炎で火傷をするおそれがあります。
- ●使用時に本体の角度を変えたり、動かしますと異常燃焼で炎が大きくなり危険です。
- ●使用中はメインバーナーの前方および上方では30cm以内に近付かないようにしてください。メインバーナーからの放射熱や炎でやけどをするおそれがあります。

⚠注　意

- ●器具せんつまみを早く回すとパイロットバーナーがリフティング(異常燃焼)する場合があります。器具せんつまみをゆっくり回して火力を調節してください。
- ●中火以下では燃焼が不安定になります。必ず上図矢印の範囲でご使用ください。また強い風の時は使用しないでください。
- ●使用中や消火後しばらくは器具が熱くなります。手を触れないでください。
- ●万一、逆火(異常な燃焼音)が発生したときは、すぐに器具せんつまみを「消火」に戻し、しばらくしてから再度点火をしてください。
- ●点火しない時はすぐに点火スイッチを押して点火作業を繰り返してください。

1.点火する

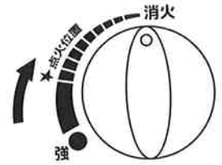
①器具せんつまみをゆっくり(2秒程度)と点火位置まで回し、点火スイッチを1～2回押してパイロットバーナーに点火します。強の位置で点火すると、いきなり大きな炎が上がる場合があります。



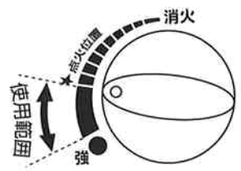
②パイロットバーナーからメインバーナーに点火され、バーナー面が徐々に赤くなってきます。

2.火力調整する

①器具せんつまみを「強」の位置に合わせると火力が最大になります。

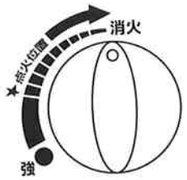


②器具せんつまみを「消火」方向に回すと、徐々に火力を弱くすることができます。



3.消火する

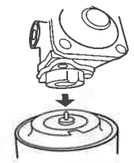
①器具せんつまみを「消火」の止まる位置まで回し、火を消してください。



4.容器(ボンベ)の取外し

①容器セットレバーを「脱」の位置にして、容器(ボンベ)の取付けと逆の手順で、容器(ボンベ)を取外してください。

②容器(ボンベ)をはずしたあと、点火操作をしてガス通路内に残っているガスを燃やしきってください。



容器セットレバーを「脱」にしてから容器(ボンベ)を取外す。

5.収納のしかた

ご使用後は本体が完全に冷えたことを確かめてから固定用つまみを少しゆるめ、脚を右図のように戻してください。

日常の点検・お手入れ

⚠注　意

- ●日常の点検·手入れを必ず行ってください。故障または破損と思われるものは使用しないでください。
- ●点検·手入れの際には、必ず容器(ボンベ)を取りはずしてください。
- ●点検·手入れはヒーターが完全に冷えてからおこなってください。
- ●安全装置、ガスの通路部分、ヒーター部などは、絶対に分解しないでください。

点　検	手入れの方法	ご　注　意
メインバーナーのヒビ割れ、破損(網の破れ)	修理を依頼して部品を交換してください。弊社、お客様相談室にご連絡ください。	異常燃焼、不完全燃焼の原因となります。
パイロットバーナー、メインバーナーの汚れや詰まり	ブラシなどで汚れを取り除いてください。作業の際に電極を動かしたり、パイロットバーナーの金属メッシュを変形させないようにご注意ください。	不完全燃焼や炎の不揃いの原因となります。常にきれいにしておいてください。
本体·反射板の汚れ	乾いた布でよく拭いてください。汚れのとれにくいときは、中性洗剤で汚れを落とし、乾いた布で十分水気をとってください。	汚れを放置するとさび、故障の原因となります。常にきれいにしておいてください。
点火プラグの汚れ	汚れや水分を取り除き、よく乾かしてください。	電極付近に汚れや水分が付着しますと漏電により、点火不良を起こします。

故障・異常の見分け方と処置方法

現象 ＼ 原因	点火しない(しにくい)	火力が弱い	火力調節ができない	炎が安定しない 黄炎で燃える	ボンベが装着できない	ガスの臭いがする	使用中に消火した	消火しない	処置方法	参照ページ
ガスが少なくなっている	●	●					●		新しい容器(ボンベ)に取替える	
パイロットバーナー、メインバーナーの汚れ	●	●		●					ブラシ等で詰まりを取り除く	
ノズルのつまり	●	●		●			●		点検修理を依頼する	
器具せんつまみの故障	●		●			●		●	点検修理を依頼する	
器具せんつまみが全開になっていない		●							器具せんつまみを全開にする	9
圧力感知安全装置の故障	●						●		点検修理を依頼する	
圧力感知安全装置の作動	●						●		原因を取り除きリセットする	7
電極の汚れ、位置のずれ	●								汚れを取り除き、電極の位置を合わせる	
専用容器(ボンベ)を使っていない	●	●			●	●			専用容器(ボンベ)を使用する	3

このような時は故障ではありません

次のような現象が起こりましたら、原因を除いて適正にご使用ください。

現　象	処置方法	原　因
ガスが出ず点火ができない	安全装置を調べる	使用中に周囲温度が高く(25℃以上)になるとボンベ(容器)の温度が上がります。このため使用中や消火直後に安全装置が作動し、ガスの供給を止めてしまう場合があります。7ページの「安全装置が作動したときの処置方法」を参考に安全装置をリセットしてください。
メインバーナーから「ボッボッボッ」と少し音がする	しばらく燃焼を続ける	点火直後はメインバーナーから音がする場合がありますが、5～10分ほど燃焼を続けると、各部の温度が安定して音が弱まってきます。
寒冷時に点火をすると火力が弱い	暖かい場所で保管していた新しい容器(ボンベ)と交換する 容器(ボンベ)を温める	容器(ボンベ)の温度が10℃以下の場合は、点火直後から火力が弱くなります。 40℃以下の暖かい場所で保管した新しい容器(ボンベ)を使用ください。また容器(ボンベ)の温度が極端に低い場合は点火しないか、点火してもすぐに消えてしまう場合がありますのでご注意ください。
寒冷時に連続使用すると火力が弱くなる	容器(ボンベ)を交換する	本商品には容器(ボンベ)を加温するヒートパネルを内蔵していますが、容器(ボンベ)のガスの量が少なくなったり、周辺温度が低い場合には火力低下を起こす場合があります。40℃以下の暖かい場所で保管した容器(ボンベ)と交換してご使用ください。また、消火後容器(ボンベ)が完全に冷えてしまうと再着火がしにくくなる場合があります。
	ヒートパネルを調べる	容器(ボンベ)とヒートパネルの間に隙間ができると容器(ボンベ)の加温効果が低下します。ヒートパネルの間隔を狭めるなどして容器(ボンベ)と密着するように調節してください。
パイロットバーナーから長い赤炎がでる	容器(ボンベ)を交換する	ガスの残量が少なくなった時など、火力が低下しますとパイロットバーナーから長い赤火が出ることがあります。このようなときは、器具栓つまみを絞ってそのままお使いいただくか、40℃以下の暖かい場所で保管した新しい容器(ボンベ)と交換してください。
点火操作をしても火花が飛ばない	点火棒(ガスマッチ)で点火する	本商品を湿気の高い場所や雨、霧があたる場所に置きますと、電極付近に水分が付着して漏電により点火不良を起こします。電極付近に水分や汚れが付着しないように、置き場所にはご注意ください。

ガードについて
この製品は、小型で高カロリーの設計のため、使用時にガードが変色する場合がありますが、異常ではありません。

ご注意 ●器具せんつまみを「消火」方向に回して火力を弱くするとパイロットバーナーの炎が大きくなったり、燃焼音が大きくなりますが異常ではありません。(ボンベのガス残量が少ないときも同じ現象が起こる場合があります)

保管(長期間使用しない場合)

- ●容器(ボンベ)を必ず器具から取はずし、そのままで点火操作をし、ガス通路の内部に残っているガスを燃しきってください。
- ●本体などが汚れていないか、よく乾いているか確認してください。
- ●器具の各部が冷えてから、各部の汚れやほこりを布でふきとり、部品を確認してから収納箱または袋に入れ、湿気の少ない場所に保管してください。
- ●取外した容器(ボンベ)は、容器キャップをして、風通しがよく、湿気の少ない40℃以下の場所に保管してください。
- ●保管してある容器(ボンベ)は時々点検して、さびたりしないように手入れを行ってください。

ご注意 本商品に容器(ボンベ)をセットまたは、入れたままの状態で保管することは絶対にしないでください。必ず別々に保管してください。